



問いをもつ

令和7年6月6日

上田市立第二中学校 No.3

学校だより

～人権教育月間 校長講話「世紀の大誤審」より～

今日から「人権教育月間」が始まります。それに先立って、今日は審判の誤った判定によって、「完全試合」という大記録を逃してしまったメジャーリーグ（野球）の話を紹介します。

ジム・ジョイスはメジャーリーグのワールドシリーズで3度審判を務めるなど、40年にわたり第一線でジャッジし続けてきた。そんなジムの人生を変えた出来事がある。

2010年6月2日、デトロイト・タイガース VS クリーブランド・インディアンスの試合だ。その日、ジムは1塁塁審を務めていた。タイガースの先発は、アルマンド・ガララーガ。この日、彼のピッチングは神がかった。仲間のファインプレーにも助けられ、1本のヒットさえも許さない。5回ぐらいから完全試合になるかもしれないという雰囲気がスタジアムに漂い始めた。

「完全試合」、それは打者を一度も出塁させず勝利すること。130年を超えるメジャーリーグでもわずか20人しか達成していない金字塔だった。8回も3人で打ち取ると、偉業達成への興奮にスタジアム全体が飲み込まれていった。そして、最終回。先頭打者に投じた初球。左中間に大きなフライが飛んだ。長打コースの大飛球をセンターが追いかけてファインプレー。「やはり、彼には神がついている」…スタジアムの誰もがガララーガのパーフェクトを確信し始めていた。ついに迎えた27人目の打者。完全試合まであと1人。1球1球興奮が高まっていく。

そして、運命の3球目。「打ち取った」— 誰もがそう思った瞬間だった。しかし、ジムの判定はセーフ。リプレイされた映像を見ると、捕球したガララーガの足が先にベースを踏んでいた。激しいブーイングがジムを襲う。そのとき、ガララーガは微笑むような表情を浮かべ、何も言わずにマウンドへ戻っていった。あっさりと次の打者を打ち取りゲームセット。おさまらないチームメイトの中、ガララーガは、その喧噪に目もくれずベンチへと戻っていった。

ロッカールームに戻り、リプレイを見てジムは愕然とした。「彼は人生最高のピッチングをしたのに、私は自分の責任を果たせなかった」—間違っていたのは自分だった。ジムの誤審はテレビで繰り返し報道され、瞬く間に全米に広がった。メディアは容赦ない見出しでジムを攻め、ついには一般市民までがジムに牙をむきはじめる。その矛先は家族にまで。問題は翌日の試合だった。実は同じ対戦カードで、ジムは球審（主審）を務めることになっていたのだ。

騒動の余韻が残るスタジアムに、ジムはうつむきながら戻ってきた。そこに、本来は監督が行うメンバー表の交換になぜかガララーガが現れたのだ。予期せぬガララーガの登場に涙するジム。すると、ブーイングはいつしか感動の拍手へと変わっていく。あれから7年。ガララーガは現役を退き、高校生に野球の楽しさを教えている。あの日、彼はなぜグラウンドに現れたのか？ガララーガは答えた

「あの日、多くのファンがジムにブーイングするためにスタジアムに来ていた。だから僕たちはそれをやめさせようとしたんだ。

人はたった一つの間違いを指摘したがるけれど、本当はジムが下してきた無数の正しい判定こそ注目されるべきなんだ」「たった一つの間違いに埋もれた無数の英断を見よ」と彼は言う。

彼には完全試合を逃した悔しさはなかったのか？「僕はあの試合で本当にいいピッチングができたことがうれしかったんだ。だからずっと笑っていたんだよ。自分がパーフェクトだったことは分かっているし、自分の心が満足すれば十分なんだ」その清廉な言葉に私たちは驚いた。

一方でジムはこう振り返っている。「あれは私にとって最悪の日であり最高の日でもあった。あのつらい状況と向き合い自分の間違いを認めたことで、多くの人に支えられ家族にどれだけ愛されているかを知ることができたのだから」

アメリカの野球殿堂博物館には、あの日使われた1塁ベースが今も展示されている。記録ではなく、人々の記憶となって輝き続けるために。

自分の大記録を台無しにしたジムへのブーイングをやめさせようとしたガララーガ、自分の過ちを認め謝罪し、つらい状況から逃げなかったジム、誤審を繰り返し放映し容赦ない見出しで書き立てたメディア、話題にのって無責任な書き込みや脅迫をした一般市民…様々な人が登場します。みなさんは、何を感じましたか？

二中 NOW

5月26日(月)に中学校体育連盟東信大会の壮行会を行いました。吹奏楽部の演奏「バックドラフト」に合わせて入場する選手たち。表情は実に頼もしく凛としていました。各部から決意発表があり、美術部作成のステージバック「一騎当千」が披露され、生徒代表のあいさつ、教頭激励のことばの後、応援団が登場し、全校生徒によるエールで士気を高め合いました。これまでの応援練習時に比べて、声は大きくなり、エールも格段に上手になっていて、一生懸命練習してきたことが窺えました。

大会当日は、試合終了1分1秒まで諦めず全力でプレーし、これまでお世話になった仲間・家族・コーチ・先生方に感謝の気持ちをパフォーマンスで示してほしいと思います。がんばれ！二中学生！！



< 今後の予定 >

〔6月〕

- 7日(土) 中体連東信大会 (バスケ・テニス・サッカー・陸上)
- 8日(日) 中体連東信大会 (テニス・卓球)
- 9日(月) 計画休業日 給食費引落日
- 10日(火) 学校へ行こう週間(13日まで)
- 14日(土) 中体連東信大会 (サッカー・女バレ・剣道)
- 16日(月) 6年生中学校見学
- 17日(火) スクールカウンセラー来校
- 20日(金) 3年内科検診
- 21日(土) 中体連東信決勝大会 (バスケ・サッカー・女バレ・テニス・卓球・柔道・剣道)
- 22日(日) 中体連東信決勝大会 (バスケ・女バレ・テニス・卓球)
- 23日(月) 計画休業日 子ども中心の日(29日まで)
- 24日(火) 授業参観日
- 26日(木) 1学期期末テスト①
- 27日(金) 1学期期末テスト②
- 29日(日) PTA作業
- 30日(月) 教育相談①



〔7月〕

- 1日(火) 教育相談② スクールカウンセラー来校
- 4日(金) 漢字検定①
- 5日(土) 陸上競技県大会①